

県土マネジメントを推進し、住みよいまちづくりをします。

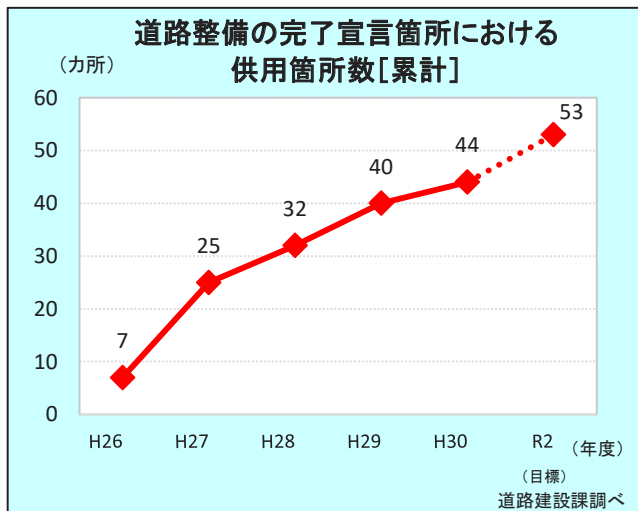
## 効率的・効果的な基盤整備と県土マネジメントの推進

### 目指す姿

令和2(2020)年度までに、道路整備の完了宣言箇所における供用箇所数を累計53カ所にし、浸水常襲地域における被害軽減のための減災対策を概ね7割の地域で完了させるなど、経済の活性化やくらしの向上に資する基盤整備の取組を進めます。

主担当部局(長)名  
 県土マネジメント部長 山田 哲也

### 1. 政策目標(目指す姿)達成に向けた進捗状況

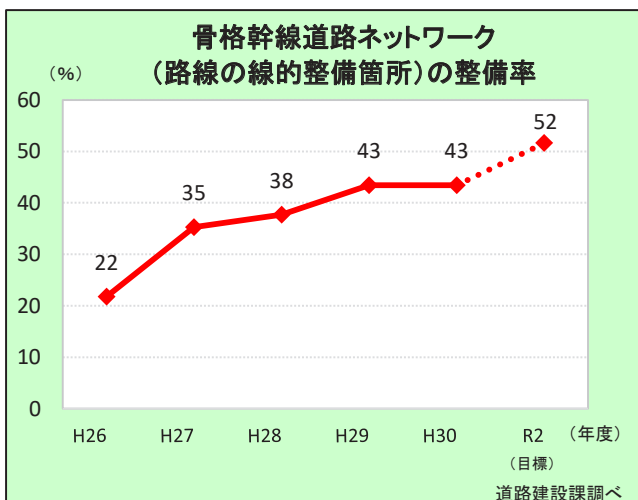


指標	道路整備の完了宣言箇所における供用箇所数[累計](カ所)				
	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
	7	↑	44	80.4%	53
	H26 (2014)	37カ所	H30 (2018)	$\frac{4}{6}$ 年目	R2 (2020)
進捗状況	供用予定年度を公表している53カ所の道路整備の完了宣言箇所について、重点的に整備し、平成30年度は新たに、県道古瀬小殿線朝町工区等4カ所を供用した結果、供用箇所は累計44カ所となり、目標に向かって順調に進捗しています。				

### 2. 戦略目標達成に向けた進捗状況

戦略	企業立地の支援、観光の振興等、地域経済の発展に寄与する基盤整備を推進します。
----	--

主担当課(長)名	道路建設課長 松田 浩之
----------	--------------



指標	骨格幹線道路ネットワーク(路線の線的整備箇所)の整備率(%)				
	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
	22	↑	43	71.3%	52
	H26 (2014)	21.4ポイント	H30 (2018)	$\frac{4}{6}$ 年目	R2 (2020)
進捗状況	骨格幹線道路ネットワークについて、重点的に整備し、線的整備箇所の整備率は平成26年度から21ポイント上昇し、約43%となりました。				

### 主な成果

平成30年12月に国道169号伯母峯峠道路、平成31年3月に京奈和自動車道大和北道路((仮称)奈良IC~郡山下ツ道JCT)の工事が着手されました。